

〔症例概要〕

No.	患者		1日投与量 投与期間	副作用												
	性・ 年齢	使用理由 (合併症)		経過及び処置												
1	男 70代	一過性脳虚血 発作 (なし)	75mg 5ヶ月	<p>インスリン自己免疫症候群</p> <p>投与開始前 (日付不明) TIA (一過性脳虚血発作) で入院。糖尿病の既往無し。</p> <p>投与開始日 一過性脳虚血発作のため本剤投与開始。</p> <p>投与6ヶ月後 (病院搬送日) 起床時のふらつき・意識障害をきたし近医へ搬送された。搬送時血糖値：33mg/dLと著明な低値を認めた。翌日採血にて空腹時血糖値：14mg/dL、インスリン：127.5 μ IU/mLとインスリン過剰分泌を認めており、インスリン抗体濃度 \geq 5000nU/mL、インスリン抗体結合率89.8%とインスリン抗体濃度・結合率ともに著明な高値を認めた。また、Scatchard解析では高結合能、低親和性の特徴を有しており、インスリン自己免疫症候群による低血糖と診断した。</p> <p>病院搬送日より7日後 本剤を中止したところ (本剤の投与中止日は不明)、血糖推移および抗体濃度の改善傾向を認めた。</p>												
<p>臨床検査値</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>副作用発現時 (投与6ヶ月後)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>血糖値 (mg/dL)</td> <td>33</td> </tr> <tr> <td>空腹時血糖値 (mg/dL)</td> <td>14</td> </tr> <tr> <td>インスリン (μ IU/mL)</td> <td>127.5</td> </tr> <tr> <td>インスリン抗体濃度 (nU/mL)</td> <td>\geq5,000</td> </tr> <tr> <td>インスリン抗体結合率 (%)</td> <td>89.8</td> </tr> </tbody> </table>						副作用発現時 (投与6ヶ月後)	血糖値 (mg/dL)	33	空腹時血糖値 (mg/dL)	14	インスリン (μ IU/mL)	127.5	インスリン抗体濃度 (nU/mL)	\geq 5,000	インスリン抗体結合率 (%)	89.8
	副作用発現時 (投与6ヶ月後)															
血糖値 (mg/dL)	33															
空腹時血糖値 (mg/dL)	14															
インスリン (μ IU/mL)	127.5															
インスリン抗体濃度 (nU/mL)	\geq 5,000															
インスリン抗体結合率 (%)	89.8															
併用薬：不明																
企業報告																